

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス くじらまっぴ DuO		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		~ 2026年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童18人 / 放課18人	(回答者数) 児童11人 / 放課11人
○従業員評価実施期間	2025年4月1日		~ 2026年3月1日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年に1回 くじらまっぴを開催している	地域とのつばかりを大切にしながら、子どもたちが主体となって活動できる環境づくりを心がけています。	くじらまっぴをはじめとして行事を通して、年齢や特性に応じて役割参加ができるよう工夫し、一人ひとりの成功体験につなげていく。
2	年に2回 保護者会を実施している	日頃の悩みや不安について、臨床心理士やスタッフだけでなく、保護者同士でも気軽に話しあえる場を設けています。	リンクスに参加できる雰囲気を作るために、保護者や気楽に思ってもらえる場づくりを心がけていく。また、子育てや発達支援に関する学びの場としても充実を図っていく。
3	子どもの状態に変化がみられる場合、関係機関と連携をとりカンファレンスをおこなっている。	学校や相談支援専門員、医療機関などと情報共有をおこない、子ども一人ひとりの状況を多面的に把握できるように努めています。	保護者の思いや家庭の様子についても積極的に共有し、家庭・園や学校・事業所が連携して支援につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童数や活動状況により、静かな環境調整が十分におこなえない場合がある。	安心して過ごせる環境づくりをおこなっているが、時間帯や活動内容によっては、落ちついて空間維持が課題となることがある。	静かに過ごしたい子どもへの配慮を継続し、一人ひとりが安心して過ごせる環境整備の充実を図っていく。
2	現場経験者と未経験者で話の捉え方がちがう、支援にずれがある。	多様な支援を大切にしている一方で、経験値の差により、支援方針の統一が難しくなる場面がある。	スタッフ間での振り返りやケース共有の機会を増やし、支援の意図や考え方を丁寧に共有していく。
3	子どもの特性に応じて空間づくりについて、設備面の改善が必要な部分がある。	感覚特性や情緒面への配慮が必要なお子さんに対して、十分な刺激調整や空間分離をおこなえない場合がある。	スタッフ間で子どもの特性や環境面について情報共有を行い、必要に応じて環境調整を継続していく。